

(令和元年9月)

みやざきブランド産地 GAPチェックシート

農産物の品質向上と消費者への信頼性確保、さらには農業経営の改善のため、GAP(農業生産工程管理)に取り組みましょう！



年度(期間) 令和 年度(年 月 ~ 年 月)

産地名

品目名

生産者名

みやざきブランド推進本部(宮崎県・JA宮崎経済連)

GAPとは

GAP …… Good Agricultural Practiceの頭文字をとったもの

Good Agricultural Practice
(良い 農業の 実践)

GAPは農業生産における「リスクの低減」、「農業経営の改善」につながる取組です

農薬残留や農作業事故、病原菌汚染等の”リスク”を低減させるとともに、ほ場管理の改善や作業の効率化、コストの低減等により農業経営を改善する取組です。

本冊は、農業生産活動で取り組むべき項目をまとめたもので、GAPを実践するための手助けとなるものです。

単なるチェックを目的として行うのではなく、自らの農業生産活動の点検と改善に努めましょう。

みやざきブランド産地GAPチェックシートについて

本冊のチェック項目は、「ひなたGAP」の適合基準に準じて、取組事項・チェック項目を示したものです。

※ 「ひなたGAP」は、農林水産省の「農業生産工程管理(GAP)の共通基盤に関するガイドライン」に準拠しています。

本冊のチェック項目は、大きく5つの取組に分類しています。

1 【農業経営全般に関する取組】

農業経営に関する基本情報の整理や経営全般に関する取組です。

2 【農作業安全に関する取組】

農作業事故を防止するための取組です。

3 【環境保全に関する取組】

廃棄物や農薬・肥料等による環境汚染を防止するための取組です。

4 【農産物の安全に関する取組】

食中毒や農薬事故、異物混入の防止など、消費者に安全・安心な農産物を届けるための取組です。

5 【米・茶特有の取組】

米、茶特有のチェック項目（米:3項目 茶:3項目）を8ページにまとめています。

米、茶の生産者はチェックしましょう。

空欄は、産地もしくは各農場において、GAPを実践するために必要な取組があれば記入し、点検と改善を行いましょ。

1 基本情報の記入について

記入例)

取組年度 : 令和元年度(2019年度)の作
 JA名 : ひむか(コード : 0001)
 支所・支店名 : 中部(コード : 001)
 生産者名 : 営農 太郎(コード : 0123456)
 作物 : 水稻(コード : 0005)
 作型 : 早期(コード : 02)
 記入日 : 令和元年9月25日
 ※ 使用するコード(JA、支所・支店、組合員)は皆様にJAから割り振られているコードです。



(例)

年度	2	0	1	9																		
JAコード	0	0	0	1	支所・支店コード				0	0	1	組合員コード				0	1	2	3	4	5	6
JA名	ひむか				支所・支店名				中部				生産者名				営農 太郎					
作物	0	0	0	5	水稻				記入日				年		月		日					
作型	0	2	早期								2	0	1	9	年	0	9	月	2	5	日	

2 チェック欄の記入について

記入例)

No.3 ほ場及びその周辺には、不要な機材、資材や廃棄物が散乱していない。
 → 適合基準を満たしているので、「○」の欄にチェックします。
 No.7 種子・苗、堆肥、土壌改良資材、肥料、農薬等の購入伝票等を保管している(1年以上)
 → 種子・苗の購入伝票を保管していなかったため、チェックしません。
 取り組めていなかった取組に補足があればコメント欄に記入します。
 No.26 セイヨウオオマルハナバチを利用する場合は、環境省の許可を取得し、定められた方法で飼養管理をしている。
 → セイヨウオオマルハナバチは使用していないので「該当なし」に斜線を入れます。



チェック項目	○	該当なし	コメント	No.
ほ場及びその周辺には、不要な機材、資材や廃棄物（農薬容器、肥料包装、空き缶、吸いがら）が散乱していない。	<input checked="" type="checkbox"/>			3
種子・苗、堆肥、土壌改良資材、肥料、農薬等の購入伝票等を保管している（1年以上）。	<input type="checkbox"/>		種子や苗の購入伝票を保管していない。	7
セイヨウオオマルハナバチを利用する場合は、環境省の許可を取得し、定められた方法で飼養管理をしている。	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>		26

3 ひなたGAP適合基準の内、みやざきブランド産地GAPチェックシートでは省略した項目

みやざきブランドGAPチェックシートは「ひなたGAP」の適合基準に準拠していますが、下記の項目は省略しています。

ひなたGAPの認証に取り組む場合は、下記の項目についても取組状況を確認してください。

区分	適合基準	ひなたGAP適合基準
知的財産の保護	農業者が開発した技術・商標は、活用手順について権利化、秘匿、公開など適切な選択をしている	1.2.2
堆肥・肥料の使用	人糞を肥料として施用していない。	4.3.2
残留農薬検査とトレーサビリティ	残留農薬検査により、出荷する農産物の安全性の確認を行っている。	4.7.1
【米特有の取組】		
ほ場環境の確認と衛生管理	土壌汚染地域でない事を確認している。 カドミウムによる汚染が懸念される場合は、必要に応じて出穂前後3週間の湛水管理等の低減対策を実施している。	1.1.3
収穫・輸送・調整時の管理	用途限定米(加工用、飼料用、米粉用)や食用不適米の区分保管と適切な販売、処分がされている。	4.4.4

2 農作業安全に関する取組

区分	チェック項目	○	該当なし	コメント	No.	ひなたGAP 適合基準
作業の危険箇所や対策の把握	作業員や作業員以外（来訪者含む）にとって危険な場所や作業、機械操作を把握し、事故を防ぐための対策、ルール、手順を文書化している、もしくは掲示物等で注意喚起をする等、事故を防止する対策を講じている。	<input type="checkbox"/>			11	2.1.1
機械の適正使用	①農業機械の取扱説明書の内容を理解している又はメーカーの指導・助言を受けている ②機械の目的外使用や改造はしていない。特に安全装備は取り外していない	<input type="checkbox"/>			12	2.2.1
作業従事者の健康と制限	①作業員に体調不良時の報告を求める等、作業員の健康を把握している ②定期的な休憩時間を定めている ※夏季のハウス作業時等はこまめに休憩時間を定めていること ③発熱や感染症が疑われる場合は、休ませることを基本として、作業を制限している	<input type="checkbox"/>			13	2.3.1
作業従事者の健康と制限	①以下のような危険を伴う作業については、作業内容によって作業従事者を定めている ○農薬散布作業 ○機械作業 ○高所作業 ②農業機械作業については、必要な免許を所有しており、研修を受講するなど十分な技術・知識を有する者を作業従事者に行っている	<input type="checkbox"/>			14	2.3.2
服装及び装備	①農作業時は、帽子・手袋等作業内容に応じた装備の着用をしている ②機械や高所作業時はそれぞれの安全対策のための装備を装着している（ヘルメットの着用等）	<input type="checkbox"/>			15	2.4.1
服装及び装備	農薬ラベルに表示された防護服・装備（カッパ、ゴム手袋、ゴム長靴、ゴーグル、防護マスク等）を着用している。	<input type="checkbox"/>			16	2.4.2
服装及び装備	防護服や装備は、使用の度に洗浄（洗濯）し、収穫物が無い場所や農薬汚染のない場所で乾燥させている。	<input type="checkbox"/>			17	2.4.3
機械の点検整備等	農業機械等は使用前に安全装備等を確認している。 また、使用後は清掃・点検を行い、所定の場所を定め、保管している。	<input type="checkbox"/>			18	2.5.1
燃料の保管	燃料は、以下の事に注意して保管している。 ①火気がなく、部外者がみだりに立ち入らない場所で保管している ②内容物に適した容器で保管している（ガソリン用、軽油用、灯油用等） ③燃料の近くで火気を使用していない	<input type="checkbox"/>			19	2.6.1
事故後の備え	常時雇用の労働者がいる場合は、必要に応じて雇用労働者を労災保険に加入させている。 【以下の経営体は労災保険への加入が必要】 ①個人経営で常時5人以上の労働者を雇用している場合 ②個人経営で事業主が農業労災に特別加入している場合 ③法人経営で1人でも労働者を雇用している場合	<input type="checkbox"/>			20	2.7.1
事故後の備え	①事故発生時の対応マニュアルや緊急連絡先を掲示している（救急、消防、警察、病院、電気、水道、ガス等） ②救急箱は常に作業を行う場所の近くに備えている	<input type="checkbox"/>			21	2.7.2
		<input type="checkbox"/>				
		<input type="checkbox"/>				
		<input type="checkbox"/>				
		<input type="checkbox"/>				
		<input type="checkbox"/>				

4 農産物の安全に関する取組①

区分	チェック項目	○	該当なし	コメント	No.	ひなたGAP 適合基準
作業者の衛生	①ほ場や作業場所から通える距離にトイレ・手洗い場がある ②トイレや手洗い場には、石鹸（消毒液）が設置してある ③トイレや手洗い場は定期的な清掃がされ、衛生的に保たれている	<input type="checkbox"/>			35	4.1.1
	作業者を介し農産物への微生物的、化学的汚染が発生しないよう、作業者自身を衛生的に保つ取組を行っている。 （清潔な服装や手袋の着用、作業前の手洗い、発熱や感染症の疑いのある作業者には収穫作業をさせない等）	<input type="checkbox"/>	花き 米 不要			36
水の使用	使用する水が水道水以外の場合、水源を確認している。 （安全性の疑いがある場合は分析し、対策をしている）	<input type="checkbox"/>	花き 米 不要		37	4.2.1
	収穫物の洗浄等に水を使用する場合は、飲用適（水道水は可）のものを使用している。 （荒茶加工に水を使用する場合は飲用適（水道水は可）のものを使用している）	<input type="checkbox"/>	花き 米 不要			38
堆肥・肥料の使用	堆肥は、数日間高温（70℃以上）で発酵したものを使用し、外来雑草の種子混入や重金属等のリスクが小さいものを使用している。	<input type="checkbox"/>			39	4.3.1
	養液栽培の場合は、培養液の交換、衛生的な資材の使用、機器の取扱いにより、微生物的、化学的汚染を低減するための取り組みをしている。	<input type="checkbox"/>	花き 米 茶 不要		40	4.3.3
	肥料の使用について、以下の事を記録している。 ①施用日 ②施用したほ場 ③施用作物 ④肥料の名称 ⑤施用面積 ⑥施用量	<input type="checkbox"/>				41
農薬の使用	「農薬台帳」を作成し、農薬の出入庫は、台帳により管理されている。	<input type="checkbox"/>			42	4.4.1
	使用期限を超過した農薬等を廃棄する時は、販売店やJA等の回収サービス、廃棄物処理業者を利用し、適正に処理している。	<input type="checkbox"/>			43	4.4.2
	農薬事故を防ぐため、以下の取組をしている。					
	①鍵のかかる適切な場所に保管している	<input type="checkbox"/>			44	4.4.3
	②種類別、適用作物別に明確に区分して保管し、粉剤を上段に、液剤を下段に保管している 毒劇物に該当する農薬は「医薬用外毒物」「医薬用外劇物」と表示した場所に保管している	<input type="checkbox"/>			45	
	③液剤は、こぼれても混ざらないように、プラスチックトレイなど、染みこまない容器で保管している	<input type="checkbox"/>			46	
	④開封済みの農薬は密封して保管している	<input type="checkbox"/>			47	
	⑤農薬は購入時に入っていた容器のままで保管している （ペットボトル等への移し替えの禁止）	<input type="checkbox"/>			48	
	ドリフトを防ぐため、農薬散布時には周辺作物へ影響しないように対策を講じている （風向の注意、障壁作物の設置、飛散しにくい剤型の選択、飛散防止ノズルの利用等） 住居が近いほ場で農薬を散布する場合は、近隣住民等へ周知をしている	<input type="checkbox"/>			49	4.4.4
	無登録農薬及び無登録農薬の疑いがある資材を使用していない。 肥料等の農薬資材で「病害虫に効果がある」等と表示されたものは使用していない。	<input type="checkbox"/>			50	4.4.5
農薬の使用時は、容器又は包装のラベルを確認し、表示内容を守って使用している。 被覆を要する農薬（土壌くん蒸剤等）を使用する場合は、揮散を防止する対策を実施している。	<input type="checkbox"/>			51	4.4.6	
農薬は、農薬散布液が残らないように必要な量だけ調製している。	<input type="checkbox"/>			52	4.4.7	
農薬使用前には、タンク、散布機、ホース内に前回使用した農薬残液が残っていないことを確認している。	<input type="checkbox"/>			53	4.4.8	
農薬散布後には防除器具に農薬残液が残らないよう洗浄方法を定め、薬液タンク、ホース、噴頭、ノズル等を十分に洗浄している。	<input type="checkbox"/>			54	4.4.9	
散布後に残った農薬は、ほ場に散布するか、作物や河川の汚染、人への危害を及ぼさないよう、非農耕地に廃棄している。 （但し、ほ場に散布する場合は規定の散布量を超えないように注意する）	<input type="checkbox"/>			55	4.4.10	

4 農産物の安全に関する取組②

区分	チェック項目	○	該当なし	コメント	No.	ひなたGAP 適合基準
農薬の使用	農薬の使用について以下の事を記録している。 ①使用日 ②使用したほ場 ③使用した作物名 ④農薬の名称 ⑤使用量及び希釈倍率	<input type="checkbox"/>			56	4.4.11
	農薬の空容器は、屋根があり、風雨にさらされない場所に保管し、販売店やJA等の回収サービスや廃棄物処理業者等を利用して適正に処理している。	<input type="checkbox"/>			57	4.4.12
衛生材・機材の管理	農産物と接触する可能性のあるトラクター等の農機具やハサミ等の収穫器具、収穫容器、運搬車両等は農産物の汚染に繋がらないよう取り扱い、汚れた場合には洗浄する等、衛生的に管理されている。また、長期間保管する場合は、屋内等の清潔な環境で保管する。	<input type="checkbox"/>	花き 米 不要		58	4.5.1
	農産物を取り扱う施設の清掃や農機具やコンテナ等の農業用資材の洗浄・消毒の作業に関する記録をしている。	<input type="checkbox"/>	花き 米 不要		59	4.5.2
収穫・輸送・調整時の管理	収穫・運搬時の汚染や異物混入を防止するため以下の対策をしている。					
	①収穫物を入れるコンテナ等の容器は、他の用途では使用していない。	<input type="checkbox"/>			60	4.6.1
	②農薬タンクや家畜ふん堆肥の運搬に使った車両を収穫物の運搬に使う場合は、車体を良く洗い、清潔なシートを敷くなど、収穫物が荷台に直接触れないようにしている。	<input type="checkbox"/>	花き 米 不要		61	
	③収穫・運搬時に、細かな農業資材（クリップ、針金、結束帯など）が、収穫物にまぎれ込むことがないように対策している。	<input type="checkbox"/>			62	
	収穫物の調整や乾燥を行う施設（茶の場合は荒茶加工施設や貯蔵施設）では、汚染や異物混入の防止のため、以下の対策をしている。					
	①床は水はけが良い状態となっている	<input type="checkbox"/>			63	4.6.2 4.6.3
	②包装資材は床に直接置かないなど、汚れないように保管し、取り扱っている	<input type="checkbox"/>			64	
	③異物混入を確認するため、色の識別ができる明るさが保たれている	<input type="checkbox"/>			65	
	④定期的に清掃している 廃棄物や不要物を作業する場所に放置していない	<input type="checkbox"/>			66	
	⑤清掃用具は破損しにくいもの、混入しても発見しやすいものを使用している	<input type="checkbox"/>			67	
⑥たばこ・ガム・ヘアピン・カッター・ドライバーなど、混入しそうなものを、調整を行う場所に置いていない	<input type="checkbox"/>	花き 米 不要		68		
⑦有害生物（ネズミ等）やベットの侵入・生息しないよう、点検と必要な対策を実施しており、家庭用殺虫剤等を使用する時は直接農産物にかかることがないようにしている	<input type="checkbox"/>			69		
⑧飲食、喫煙、休息は、決められた場所で行うようにしている	<input type="checkbox"/>			70		
⑨収穫物に触れる前やトイレに行った後は石鹸等で手洗いをしている	<input type="checkbox"/>			71		
⑩発熱や吐き気等の症状がある者には収穫・調整作業を行わせていない	<input type="checkbox"/>			72		
⑪訪問者に衛生上のルールを守らせるなど、部外者への適切な対応を実施している	<input type="checkbox"/>			73		
収穫物の品質低下を招かないよう、高温下に長時間放置せず、運搬時も適切な温度管理を行っている 貯蔵する場合は、貯蔵施設を清潔な状態にし、適切な温度を保っている	<input type="checkbox"/>	花き 米 不要		74	4.6.4	
ピトリライサ	出荷した農産物がいつ、どのハウス、どのほ場で収穫したのかを特定することができる。	<input type="checkbox"/>			75	4.7.1

米特有の取組						
区分	チェック項目	○	該当なし	コメント	No.	ひなたGAP管理点
土壌の保全	浅水状態で代かきの実施やあぜシートの利用等により濁水が流出するのを防いでいる。 また、作付け期間以外でも風雨による土壌の浸食が懸念される場合には、必要に応じて被覆作物の栽培等の対策を検討する。	<input type="checkbox"/>			1	3.2.1
農薬の使用	水田からの農薬流出を防止するために以下の取組を実施している。 ①畦畔などの水田周辺の整備を行っている ②農薬を使用する際には農薬ラベルに記載されている止水に関する注意事項等を遵守している	<input type="checkbox"/>			2	4.3.5
収穫時の管理	①収穫後、貯蔵可能な水分含量まで速やかに乾燥を実施している。 ②貯蔵施設の温度、湿度管理をしている。	<input type="checkbox"/>			3	4.4.3
		<input type="checkbox"/>				
		<input type="checkbox"/>				
		<input type="checkbox"/>				

茶特有の取組						
区分	チェック項目	○	該当なし	コメント	No.	ひなたGAP管理点
危険箇所や作業の把握と対策	荒茶加工作業において、作業者にとって危険な場所や作業、機械操作を把握し、事故を防ぐための対策、ルール、手順を文書化している、もしくは掲示物などで注意喚起するなど、事故を防止する対策を講じている。	<input type="checkbox"/>			1	2.1.2
作業者の研修	ボイラーの取扱は、ボイラーの区分に応じた免許取得者、取扱い技能講習修了者、取扱特別教育修了者が行っている。（小型ボイラー以上）	<input type="checkbox"/>			2	2.3.3
機械等の整備・点検	ボイラーの設置は、必要な届出や自主検査を実施している。 ①ボイラーの設置・使用に必要な届出を行い、取扱い主任者を設置している。 ②定期的に自主点検を実施し、自主点検結果は3年間保管している。	<input type="checkbox"/>			3	2.5.2
		<input type="checkbox"/>				
		<input type="checkbox"/>				
		<input type="checkbox"/>				